

のみバスが新ダイヤ・ルートで運行スタート



里山をイメージさせる国造ゆずなどをあしらったデザイン

IR いしかわ鉄道が県内全線開業する3月16日から、のみバスのルート・ダイヤを改正し、鉄道との接続や市内移動の利便性が向上しました。

また更新時期を迎えた車両1台をワゴン車両（利用定員12人）に

更新し、循環ルート「坪野方面」「鍋谷方面」の運行で使用しています。

新車両は全て座席となっており、従来のバス車両より小型化したことで、積雪などで行き止まりの道路を運行する際の安全性が向上しました。

寺井消防署の高規格救急自動車を更新

全国の災害に派遣する緊急消防援助隊に登録した寺井消防署の高規格救急自動車を更新しました。

新車両は、より安全な救急搬送を行うための自動ブレーキを搭載し、サイレンの音に連動して赤色灯の光量に変化するアクティブコーンを搭載し、緊急走行時の一般車両からの視認

性を高め、安全な緊急走行を確保します。

また車内には自動心臓マッサージ機や携帯型モニターリング機能付除細動器などの救急救命士による高度な処置が行える救急救命資機材を搭載しています。

更新した高規格救急車



更新した高規格救急車



防衛省 (民生安定助成事業)

防衛省補助金(民生安定助成事業)を活用して整備しました。

大和ハウス工業株式会社が福島グランパークに進出

大和ハウス工業が福島グランパーク(福島町)への進出を表明し、2月19日、北陸支社の石野信治支社長らが市役所を訪れ、進出表明式を開催しました。

4万2070平方メートルの敷地に、スーパーやドラッグストア、飲食店、物販店などが集積した複合商業施設を整備する計画で、令和8年度中のオープンを予定しています。

石野支社長は「地域に喜ばれ、活力になる施設にしていきたい」と話されました。

井出市長は「一企業誘致や移住定住の勢いを加速させる。市としてもしっかり支援していく」と話しました。

今回の進出決定により、令和元年度から造成に着手した福島グランパークは売完となりました。



至金沢

福島こども園

至小松



石野信治支社長(左)と井出市長

沖縄県恩納村と教育交流パートナー協定を締結

2月19日、沖縄県恩納村教育委員会と能美市教育委員会による「教育交流パートナー協定」を締結しました。

この協定は、沖縄科学技術大学院大学（OIST）と北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）が「学術協力に関する基本協定」



左からJAIST寺野学長、恩納村宜志富教育長、木下教育長、井出市長

能美市吉原釜屋町土地画整理組合が設立

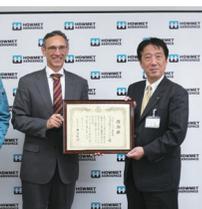
1月31日付で設立の認可を受けた「能美市吉原釜屋町土地画整理組合」が2月25日、第1回総会を吉原釜屋町会館で開催しました。

今後、住宅地・工業地の土地利用を計画して、市の補助金を活用し、区画道路の整備や既存道路の拡幅整備などを行い、宅地の利用を促進する市街地の造成を進めていきます。



施行箇所（施行面積：約2.68ヘクタール）

ハウメット・ジャパン株式会社から「寄附のみ電子図書館」に新たに電子書籍345冊



左から清水靖夫管理部長、ハウメット・ジャパン代表取締役社長、井出市長

ハウメット・ジャパン株式会社（粟生町）から、のみ電子図書館の蔵書の充実を図るため、222万6750円（寄附をいただきました。3月6日、ハウメット株式会社）の電子書籍345冊分の購入に充てられました。



のみ電子図書館



防災士の北村さんが県知事表彰受賞を報告

2月28日、令和5年度石川県自主防災組織等知事表彰の防災士部門を受賞した北村達也さん（中ノ江町）が井出市長に受賞を報告しました。

この表彰は、地域の防災力向上に貢献した自主防災組織や防災士に贈られるものです。現在は市防災士連絡協議会の副会長を務めており、根上地区の防災士などが横のつながりを創出するための意見交換会を企画するなど活躍されています。



左から防災士連絡協議会会長の本村康二さん、北村さん、井出市長

金沢21世紀美術館で九谷焼の新たな魅力を発信



来場者1万人目の柴田さん一家

3月6日から17日にかけて、金沢21世紀美術館で、九谷焼作家が絵付けしたウルトラマンシリーズや九谷焼ランプシェード、初お披露目となる星のカービィ18点など、多種多様なキャラクターの九谷焼グッズを展示しました。

地震により発生した孤立集落の火災防ぎよ訓練

3月8日、仏大寺町地内で、火災防ぎよ訓練を実施しました。能登半島地震により発生した輪島市の大規模火災を教訓に、消防水利が不足する状況下や土砂などにより道路が寸断されるなど、震災時の消防活動の困難な状況を想定しました。



遠距離中継送水による消防活動

毎月15日は「ふれあいあいさつデー」

「能美市豊かな心を育む市民会議」は、毎月15日を「ふれあいあいさつデー」とし、子どもたちへのあいさつ運動に取り組んでいます。今年度のポスターは山本由奈さん（辰口中）の作品です。



毎月15日は能美市ふれあいあいさつデー

祝百寿 おめでとつづぎいきます



2月25日、北村しずエさん（新保町）がめでたく100歳を迎えられ、お祝い状と記念品が贈呈されました。北村さんは工場勤務と農作業をしながら、おひとりでお子さん2人を育てていました。娘さんは「大変なときにいつも前向きな言葉と行動力で家族を守ってくれました。お母さんの生き方が私たち兄妹の道しるべになっています」と話していました。